

令和8年度 全国学力・学習状況調査の結果について

全国学力・学習状況調査が開始されて以来、網走市では、市の教育目標である「明日をひらく子どもの育成」のため、市内全校が一丸となって共通・一貫した取組を進めてまいりました。その結果、子どもたちの学力・学習状況が着実に向上しております。

網走市教育委員会では、引き続き「網走市学校教育推進プラン」に基づき、未来を担う子どもたちに必要な資質・能力の育成を目指してまいります。この度、網走市総合学校力向上推進委員会とともに分析を行った市内小・中学校全体の調査結果と、今後のさらなる学力向上に向けた方策をあわせて公表いたします。

1. 調査の概要

1. 調査の目的

- 義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への学習指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。さらに、このような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

2. 実施日 令和8年4月20日（月）～5月29日（金）

3. 調査の対象・児童生徒数

- 小学校第6学年 9校（網走小、中央小、西小、南小、潮見小、東小、白鳥台小、西が丘小、呼人小）
実施人数 国語165名 / 算数164名
- 中学校第3学年 6校（第一中、第二中、第三中、第四中、第五中、呼人中）
実施人数 国語215名 / 数学215名 / 英語217名

4. 調査の内容

- ① 教科に関する調査（小学校：国語、算数 / 中学校：国語、数学、英語）
 - ・身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能等
 - ・知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力等に関する内容※上記を一体的に問う。
※中学校英語は、文部科学省 CBT システムを活用したオンライン方式で実施
- ② 生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査
 - ・児童生徒に対する調査
 - ・学校に対する調査※児童生徒質問紙および学校質問紙は、文部科学省 CBT システムを活用したオンライン方式で実施

2. 結果の概要

(1) 平均正答率・平均正答数

教 科		小学校		中学校		
		国語	算数	国語	数学	英語
問題数		13 問	16 問	15 問	16 問	—
平 均 正答率 (ポイント)	網走市	58.4	51.0	63.0	57.0	486
	北海道	59.6	53.6	63.3	55.0	489
	全 国	60.9	56.4	63.9	57.0	499
北海道との差		-1.2	-2.6	-0.3	+2.0	-3
全国との差		-2.5	-5.4	-0.9	0	-13
平 均 正答数 (問)	網走市	7.6	8.1	9.4	9.1	—
	北海道	7.8	8.6	9.5	8.8	—
	全 国	7.9	9.0	9.6	9.1	—
北海道との差 (問)		-0.2	-0.5	-0.1	+0.3	—
全国との差 (問)		-0.3	-0.9	-0.2	0	—

※平均正答率は各教科それぞれの平均正答数を設問数で割った値の百分率。中学校英語は平均 IRT スコア。

(2) 網走市《小学校》の平均正答率（全国との比較）の推移

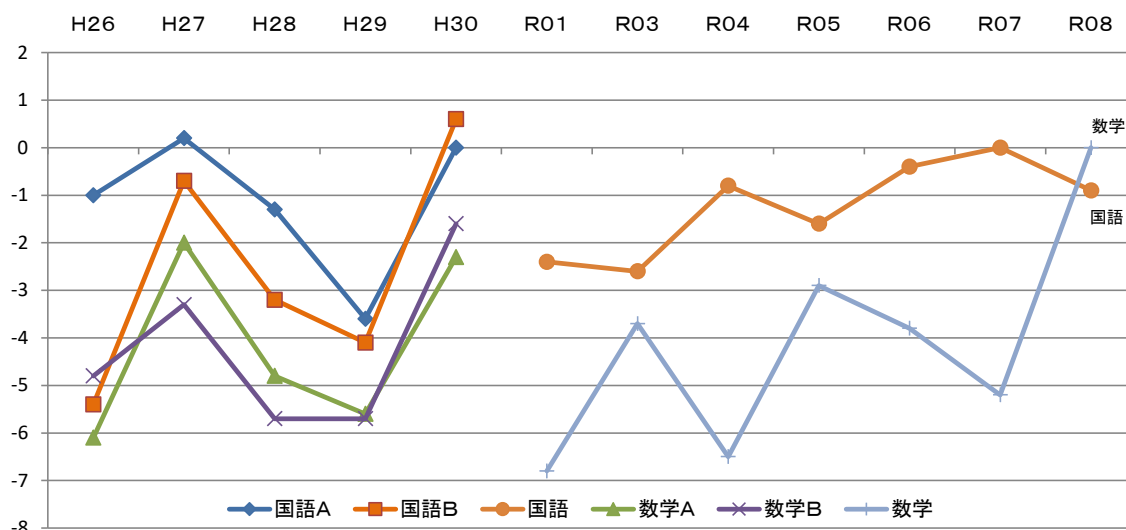


		H26	H27	H28	H29	H30	R01	R03	R04	R05	R06	R07	R08
国 語	A	72.7	69.0	71.6	74.5	67.0	64.1	63.8	61.3	65.5	65.9	64.9	58.4
		-0.2	-1.0	-1.3	-0.3	-3.7							
	B	51.3	61.2	55.1	56.2	52.5							
		-4.2	-4.2	-2.7	-1.3	-2.2	0.3	-0.9	-4.3	-1.7	-1.8	-1.9	-2.5
算 数	A	74.3	71.3	74.9	79.0	62.2	64.3	68.2	59.4	61.9	58.4	51.9	51.0
		-3.8	-3.9	-2.7	0.4	-1.3							
	B	53.3	43.3	44.7	43.3	47.8							
		-5.1	-1.7	-2.5	-2.6	-3.7	-2.3	-2.0	-3.8	-0.6	-5.0	-6.1	-5.4

※国語と算数は、平成31年度（令和元年度）から「知識」と「活用」を一体的に問う問題形式で実施。

※令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響により、全国調査は実施されていない。

（３）網走市《中学校》の平均正答率（全国との比較）の推移

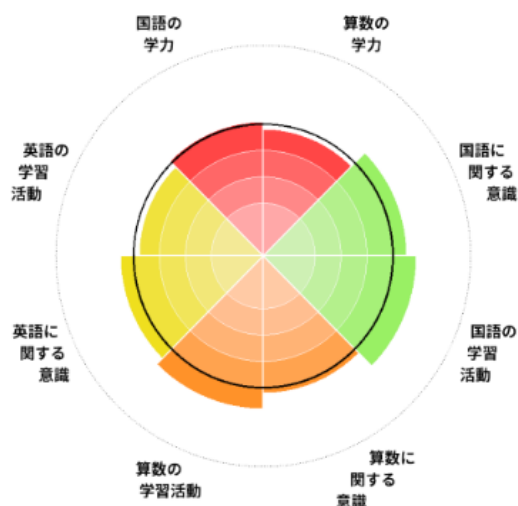


		H26	H27	H28	H29	H30	R01	R03	R04	R05	R06	R07	R08
国語	A	78.4	76.0	74.3	73.8	76.1	70.4	62.0	68.2	68.1	57.7	54.3	63.0
		-1.0	0.2	-1.3	-3.6	0.0							
	B	45.6	65.1	63.3	68.1	61.8							
		-5.4	-0.7	-3.2	-4.1	0.6	-2.4	-2.6	-0.8	-1.6	-0.4	0	-0.9
数学	A	61.3	62.4	57.4	59.0	63.8	53.0	53.5	44.9	48.1	48.7	43.1	57.0
		-6.1	-2.0	-4.8	-5.6	-2.3							
	B	55	38.3	38.4	42.4	45.2							
		-4.8	-3.3	-5.7	-5.7	-1.7	-6.8	-3.7	-6.5	-2.9	-3.8	-5.2	0

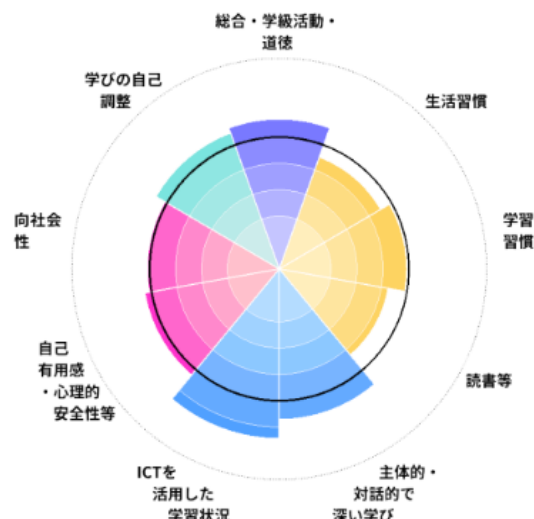
（４）「国語、算数・数学、英語、児童・生徒質問紙」調査結果チャート

《 小学校 》

〔教科を中心とした学力・学習状況〕
(全国基準)



〔その他の学力・学習状況（学習習慣、自己有用感等）〕
(全国基準)



【小学校の調査結果の傾向】

昨年度と同様に「生活習慣」や「学習習慣」、「読書等」の定着に引き続き課題が見られ、全国平均を下回る傾向が続いています。一方で、昨年度から継続して「ICTを活用した学習状況」や「主体的・対話的で深い学び」、「学びの自己調整」に関する数値が全国平均を大きく上回っています。

【要因】

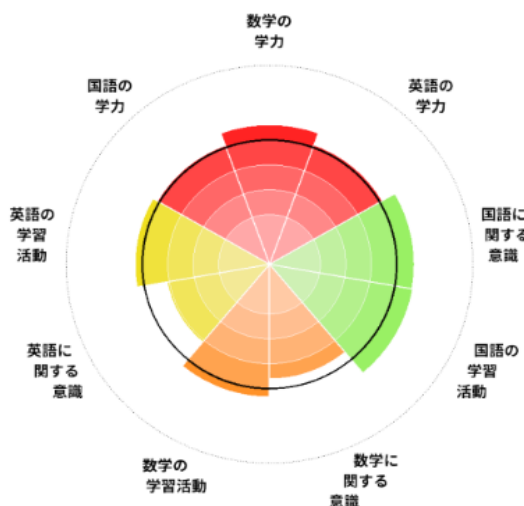
授業における望ましい学び方は身に付けているものの、それが「算数の学力」向上に十分につながっていない状況が見られます。昨年度、学習意欲低下の一因として懸念されていた「自己有用感等」は、今年度「自己有用感・心理的安全性等」として全国平均を上回る改善が見られ、学習に向かう心理的基盤は育ちつつあります。しかし、その改善が学力向上に直結していない主な要因として、昨年度から継続した課題となっている授業以外での「生活習慣」や「学習習慣」、「読書等」が全国平均に達していないことが考えられます。特に「読書等」の項目が低い状態が続いていることは、基礎的な学習基盤の定着に影響を及ぼしている可能性があります。

【今後の取組の方向性】

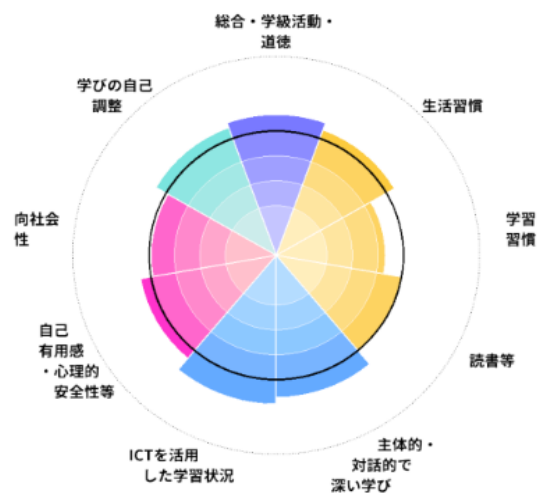
望ましい生活習慣や家庭学習・読書の習慣化を促すため、保護者との連携強化をより一層推進する必要があります。同時に、継続した強みである「ICTを活用した学習」や「自己調整力」を活かした学習活動に加え、今年度改善が見られた「自己有用感」をさらに高めるような授業の工夫を重視します。

《 中学校 》

〔教科を中心とした学力・学習状況〕
(全国基準)



〔その他の学力・学習状況（学習習慣、自己有用感等）〕
(全国基準)



【中学校の調査結果の傾向】

昨年度全国平均以下だった「数学の学力」や「生活習慣」は、令和8年度には改善が見られ全国平均に達しました。また、昨年度から継続して、「ICTを活用した学習状況」や「主体的・対話的で深い学び」に関する数値が全国平均を大きく上回った一方で、「数学に関する意識」等の教科に対する意識面や、授業以外の「学習習慣」については全国平均を下回る傾向が続いています。

【要因】

学力や生活習慣に改善が見られ、各教科の「学習活動」についても全国平均を上回るなど、授業における望ましい学び方や基盤は整っています。しかし、「数学に関する意識」などが引き続き全国平均を下回っていることから、学習に対する前向きな意識や学ぶ目的意識が十分に育っていないことが課題として挙げられます。さらに、「学習習慣」が全国平均に達していないことから、学校での充実した学びが家庭での自律的な学習に十分につながっていないことが考えられます。

【今後の取組の方向性】

継続した強みである「ICTを活用した学習状況」や「主体的・対話的で深い学び」を活かし、生徒が数学や英語などに対する興味・関心、学ぶ意義を高めるような学習活動の工夫をより一層重視します。また、改善が見られた生活習慣を基盤とし、継続的な課題となっている「学習習慣」の定着に向けて、家庭や保護者との連携強化を推進します。

3. 教科に関する調査

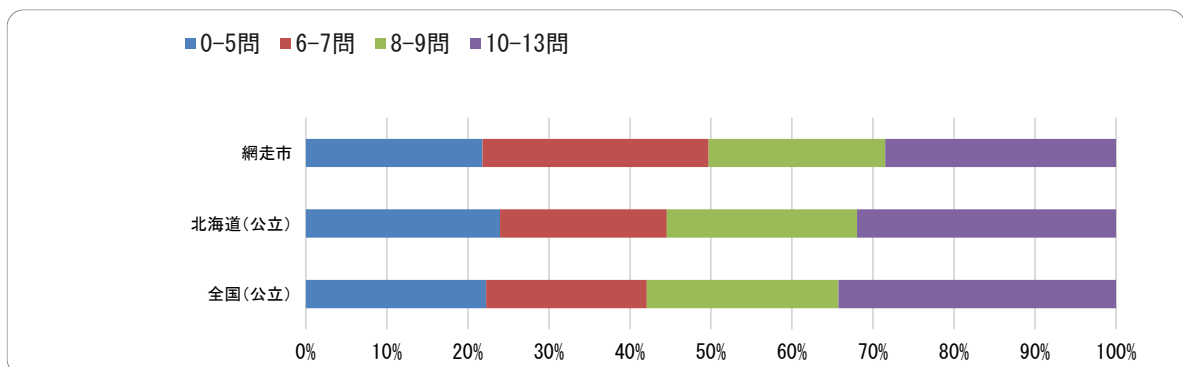
○小学校 国語

分類		区分	対象問題数 (問)	平均正答率(%)		
				網走市	北海道（公立）	全国（公立）
全体			13	58.4	59.6	60.9
学習指導要領の内容	知識及び技能	(1) 言葉の特徴や使い方にに関する事項	4	67.4	65.9	66.8
		(2) 情報の扱い方にに関する事項	2	49.1	51.0	52.3
		(3) 我が国の言語文化に関する事項	0			
	思考力、判断力、表現力等	A 話すこと・聞くこと	3	63.2	64.4	65.8
		B 書くこと	2	41.2	43.2	45.7
		C 読むこと	2	60.0	65.0	65.9
評価の観点		知識・技能	6	61.3	60.9	62.0
		思考・判断・表現	7	56.0	58.5	60.1
		主体的に学習に取り組む態度	0			
問題形式		選択式	9	58.7	60.4	61.9
		短答式	2	62.4	62.3	62.6
		記述式	2	53.3	53.4	54.9

問題 番号	問題の概要	出題の趣旨	学習指導要領の内容					評価の観点	問題形式	正答率(%)			無解答率(%)				
			知識及び技能			思考力、 判断力、 表現力等	主体的に学習に 取り組む態度			選択式	記述式	網走市	北海道 (公立)	全国 (公立)	網走市	北海道 (公立)	全国 (公立)
			(1) 言葉の 特徴や 使い方	(2) 情報の 扱い方	(3) 我が国 の言語 文化	A 話すこと・ 聞くこと											
正答率が高かった問題(上位2問)																	
2三ア	【花山さんの文章の一部】の下線部アを、漢字を使って書き直す(みじか・い)	学年別漢字配当表に示されている漢字を文中で正しく使うことができるかどうかをみる	5・6エ					○		○	80.0	77.9	80.0	3.0	4.2	4.1	
2四	【花山さんの文章の続き】の空欄に入る内容を、【集めた情報】から抜き出して考えが伝わるように書く	引用して、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することができるかどうかをみる	5・6エ					○		○	29.7	30.6	33.5	2.4	5.3	5.2	
正答率が低かった問題(下位2問)																	
3三(1)	【話し合いの様子の一部】の空欄に入る内容として適切なものを選択する	目的に応じて、必要な情報を見付けることができるかどうかをみる	5・6ウ					○	○		43.0	53.8	55.5	1.2	2.5	3.3	
3三(2)	【文章】を読んで考えたことを、自分の経験と結び付けてまとめて書く	文章を読んで理解したことに基いて、自分の考えをまとめることができるかどうかをみる	5・6オ					○		○	77.0	76.3	76.4	12.7	15.4	15.6	

【小学校国語の概要】

- 正答率の全国平均との差は、-2.5ポイント。
- 正答率が全国平均を上回った問題は、13問中4問。
- 無回答率が全国平均を下回った問題は、13問中13問。
- 学習指導要領の領域別(6領域から出題)では、全国平均を上回ったのは1領域のみ。
- 問題形式別では、「選択式」「記述式」「短答式」とも全国平均以下。
- 平均正答数が8問(全国平均)以上の割合は、全国57.8%、網走50.3%。



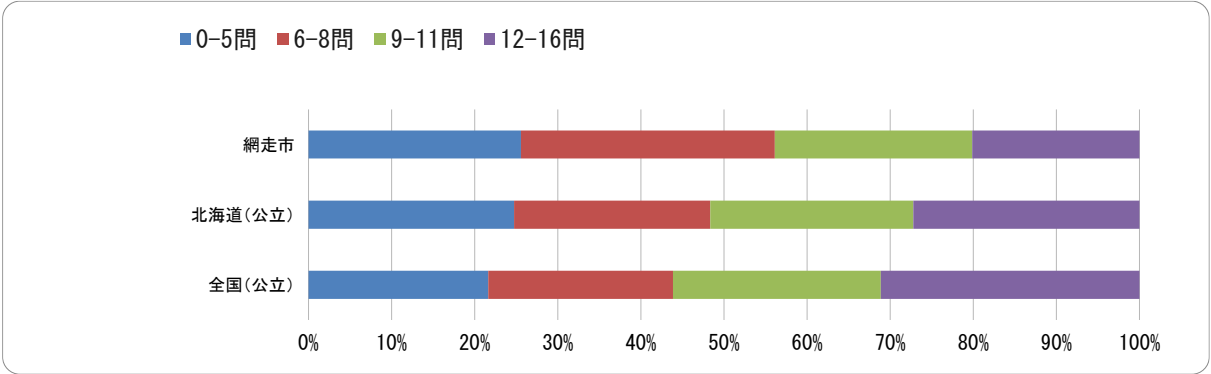
○小学校 算数

分類	区分	対象問題数 (問)	平均正答率(%)		
			網走市	北海道（公立）	全国（公立）
全体		16	51.0	53.6	56.4
学習指導要領の領域	A 数と計算	8	56.2	58.2	61.1
	B 図形	4	45.7	51.8	55.3
	C 測定	1	76.8	76.4	78.1
	C 変化と関係	3	33.9	38.1	41.1
	D データの活用	4	42.7	45.6	48.6
評価の観点	知識・技能	12	54.3	57.4	60.1
	思考・判断・表現	4	40.9	42.5	45.4
	主体的に学習に取り組む態度	0			
問題形式	選択式	5	53.9	54.4	56.0
	短答式	8	52.4	56.6	59.7
	記述式	3	42.1	44.5	48.5

問題番号	問題の概要	出題の趣旨	学習指導要領の領域			評価の観点	問題形式	正答率(%)			無解答率(%)								
			A 数と計算	B 図形	C 測定	C 変化と関係	D データの活用	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	選択式	短答式	記述式	網走市	北海道（公立）	全国（公立）	網走市	北海道（公立）	全国（公立）
正答率が高かった問題（上位2問）																			
3（1）	1、5、9の3枚のカードを当てはめてつくることのできる最も大きい数を書く	小数が整数と同じ十進位取り記数法の仕組みで表されていることを理解し、条件に合う小数をつくることができるかどうかをみる	4 (4) ア(イ)						○			○		92.7	94.4	94.5	0.0	1.0	1.0
4（2）	普通紙の計画を見て、全体で使える時間の中で、「前半」に使える時間は何分間かを書く	示された情報を基に、数量の関係に着目して、条件に合う時間を求めることができるかどうかをみる	4 (2) ア(ア)	3 (3) ア(イ)					○			○		76.8	76.4	78.1	1.8	3.8	3.4
正答率が低かった問題（下位2問）																			
2（4）	赤いテープの長さが、白いテープの長さの1.5倍になっている図を二つ選ぶ	基準量、比較量、割合の関係が正しく表されている図を選ぶことができるかどうかをみる	4 (4) ア(ア)			5 (3) ア(ア)			○			○		26.8	30.4	34.2	0.6	1.4	1.5
4（3）	二次元の表から、前半にあやとりに参加する人数と、前半はかるたに参加し、後半はあやとりに参加する人数を書く	二次元の表から、条件に合う数を読み取ることができるかどうかをみる						4 (1) ア(ア)	○			○		11.6	15.0	17.9	2.4	4.1	3.9

【小学校算数の概要】

- 正答率の全国平均との差は、－5.4ポイント。
- 正答率が全国平均を上回った問題は、16問中3問。
- 無回答率が全国平均を下回った問題は、16問中15問。
- 学習指導要領の領域別(4領域から出題)では、全国平均を上回った領域無し。
- 問題形式別では、「選択式」「記述式」「短答式」とも全国平均以下。
- 平均正答数が9問(全国平均)以上の割合は、全国56.1%、網走43.8%。



○中学校 国語

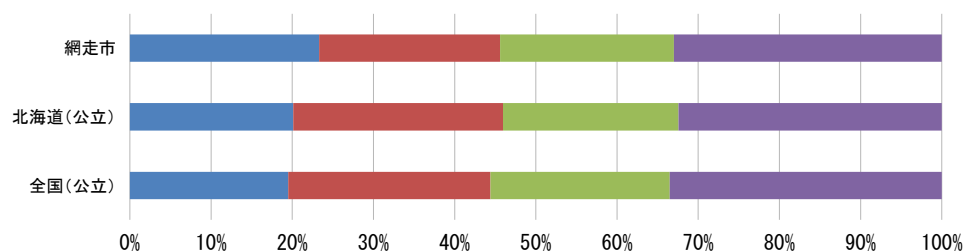
分類		区分	対象問題数	平均正答率(%)		
				網走市	北海道（公立）	全国（公立）
全体			15	63.0	63.3	63.9
学習指導 要領の 内容	知識及び 技能	(1) 言葉の特徴や使い方に関する事項	5	63.3	61.9	63.0
		(2) 情報の扱い方に関する事項	1	69.3	69.0	70.4
	思考力、 判断力、 表現力等	A 話すこと・聞くこと	3	60.8	63.1	63.9
		B 書くこと	3	67.8	68.2	67.4
		C 読むこと	3	56.6	59.0	59.7
評価の観点		知識・技能	6	64.3	63.1	64.2
		思考・判断・表現	9	61.7	63.4	63.7
問題形式		選択式	9	72.0	71.8	72.7
		短答式	3	55.5	55.5	55.8
		記述式	3	42.2	45.5	45.5

問題番号	問題の概要	出題の趣旨	学習指導要領の内容						評価の観点	問題形式	正答率（％）			無解答率（％）					
			知識及び技能			思考力、判断力、表現力等					網走市	北海道（公立）	全国（公立）	網走市	北海道（公立）	全国（公立）			
			(1)	(2)	(3)	A	B	C	知識・技能	主体的に学習に取り組む態度							選択式	短答式	記述式
			言葉の特徴や使い方	情報の扱い方	我が国の言語文化	話すこと・聞くこと	書くこと	読むこと											
正答率が高かった問題（上位2問）																			
3二	気持ちがより伝わるように、表現を工夫して書く	表現の効果を考えて描写することができるかどうかをみる				2ウ			○		○	92.1	92.4	92.3	5.1	4.8	4.8		
1一	「可能の意味」を含んでいるものとして適切なものを選択する	助動詞の働きについて理解しているかどうかをみる	2オ						○		○	87.0	83.4	84.3	0.5	0.1	0.2		
正答率が低かった問題（下位2問）																			
3一	文書作成ソフトに表示された意味と用例を参考にし、漢字を書き、漢字の組合せとして適切なものを選択する（とる）	文脈に即して正しく漢字を書き、語句を文章の中で使うことができるかどうかをみる	2ウエ						○		○	36.3	37.5	39.8	0.0	0.2	0.3		
4四	二つの例文を比べながら、擬態語「きっぱり」が表している具体的な様子と擬態語の効果を書く	文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えを確かなものにするることができるかどうかをみる				1オ			○		○	34.0	38.8	38.9	21.4	20.7	18.6		

【中学校国語の概要】

- 正答率の全国平均との差は、-0.9ポイント。
- 正答率が全国平均を上回った問題は、15問中4問。
- 無回答率が全国平均を下回った問題は、15問中7問。
- 学習指導要領の領域別（4領域から出題）では、2領域で全国平均を上回っている。
- 問題形式別では、「選択式」「記述式」「短答式」とも全国平均以下。
- 平均正答数が10問（全国平均）以上の割合は、全国55.6%、網走54.4%。

■0-6問 ■7-9問 ■10-11問 ■12-15問



○中学校 数学

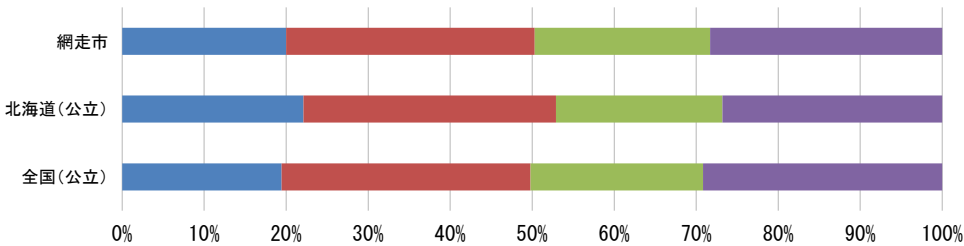
分類	区分	対象問題数 (問)	平均正答率(%)		
			網走市	北海道（公立）	全国（公立）
全体		16	57.0	55.0	57.0
学習指導要領の 領域	A 数と式	5	69.1	66.2	67.8
	B 図形	4	50.2	47.9	48.7
	C 関数	3	48.2	50.7	54.8
	D データの活用	4	53.6	51.3	53.5
評価の観点	知識・技能	12	62.9	60.9	63.0
	思考・判断・表現	4	37.7	37.3	39.1
	主体的に学習に取り組む態度	0			
問題形式	選択式	3	62.5	58.0	59.3
	短答式	9	63.0	61.8	64.2
	記述式	4	37.7	37.3	39.1

問題番号	問題の概要	出題の趣旨	学習指導要領の領域				評価の観点				問題形式			正答率(%)			無解答率(%)		
			A 数と式	B 図形	C 関数	D データの活用	知識・技能	思考・判断・表現	選択式	短答式	記述式	網走市	北海道（公立）	全国（公立）	網走市	北海道（公立）	全国（公立）		
正答率が高かった問題（上位2問）																			
1	2月3日のA市の最高気温が最低気温より何℃高くなったかを書く	具体的な場面において、正の数と負の数を用いて変化や状況を表すことができるかどうかをみる	1(1) ア(2)				○			○		87.9	85.3	85.7	0.5	0.5	0.6		
9(2)	学年別の睡眠時間について、学年別睡眠時間の箱ひげ図から読み取れることとして正しいものを選ぶ	箱ひげ図と四分位数の対応について理解しているかどうかをみる			2(1) ア(7)		○		○			79.5	74.3	75.8	0.0	0.8	0.7		
正答率が低かった問題（下位2問）																			
9(3)	「就寝時刻が23時より前の生徒と比べて、23時以降の生徒の方が睡眠時間が短い傾向にある」と主張できる理由を、悠真さんが調べたことの二つの度数分布多角形の形と位置を比較して説明する	データの傾向を的確に捉え、判断の理由を度数分布多角形の特徴を基に説明することができるかどうかをみる			1(1) イ(7)		○			○		32.6	30.7	31.9	33.0	33.2	28.9		
7(2)	データ量が1000MBになるときの動画の時間がおよそ何秒になるかを求める方法を説明する	数学的に表現したことを事象に即して解釈し、問題解決の方法を数学的に説明することができるかどうかをみる			1(1) イ(4)		○			○		26.5	31.9	33.9	48.8	42.9	39.6		

【中学校数学の概要】

- 正答率の全国平均との差は、±0ポイント。
- 正答率が全国平均を上回った問題は、16問中9問。
- 無回答率が全国平均を下回った問題は16問中8問。
- 学習指導要領の領域別(4領域から出題)では、3領域で全国平均を上回っている。
- 問題形式別では、「選択式」で全国平均を上回り、「短答式」「記述式」で全国平均を下回っている。
- 平均正答数が10問(全国平均)以上の割合は、全国50.1%、網走49.7%。

■0-4問 ■5-9問 ■10-12問 ■13-16問

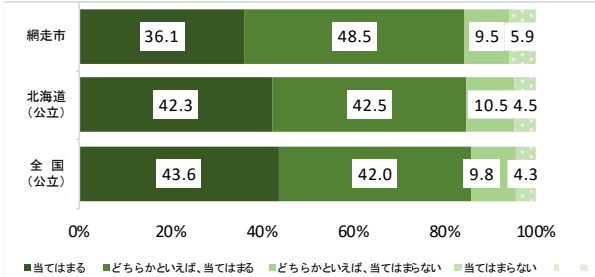


4. 児童生徒質問紙調査（ウェルビーイングの向上に関する項目）

「自分にはよいところがある」「先生はよいところを認めてくれる」に関する肯定的回答（「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」※以下の項目でも同様）は、小中いずれにおいても「よいところを認めてくれる」が全国より高い。

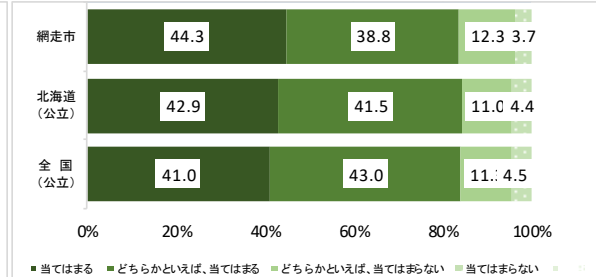
小学校 ＜児童質問＞

自分には、よいところがあると思いますか



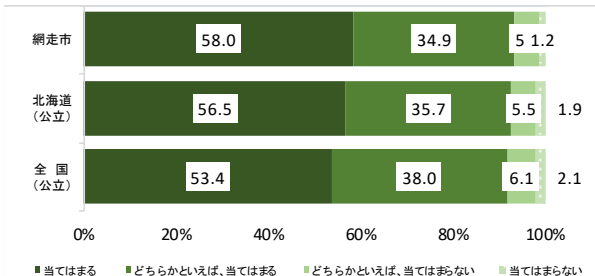
中学校 ＜生徒質問＞

自分には、よいところがあると思いますか



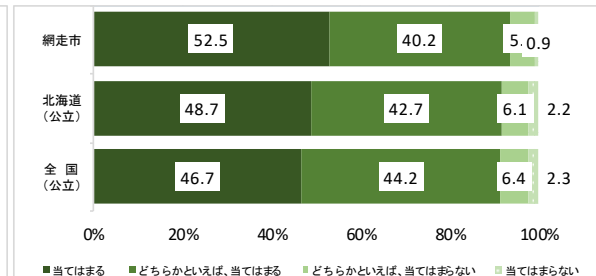
小学校 ＜児童質問＞

先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか



中学校 ＜生徒質問＞

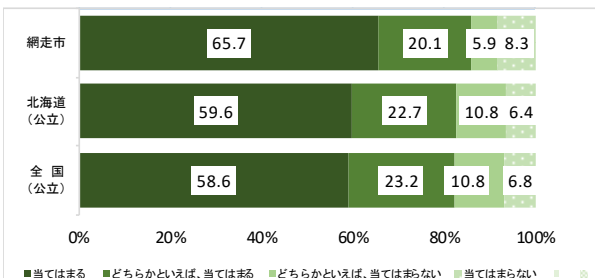
先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか



「将来の夢や目標を持っている」は小中学校、「地域や社会をよくするために何かをしたい」は小学校において、肯定的回答が全国と同等もしくは高い。

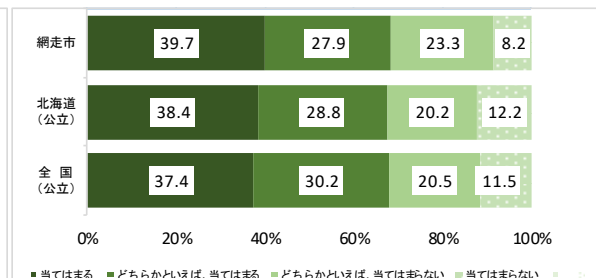
小学校 ＜児童質問＞

将来の夢や目標を持っていますか



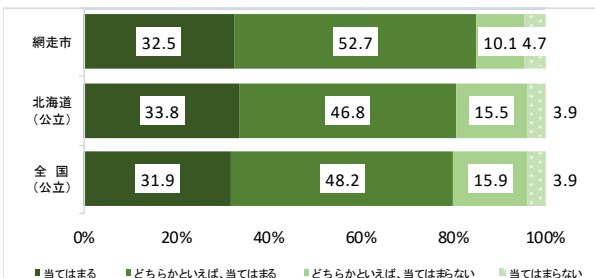
中学校 ＜生徒質問＞

将来の夢や目標を持っていますか



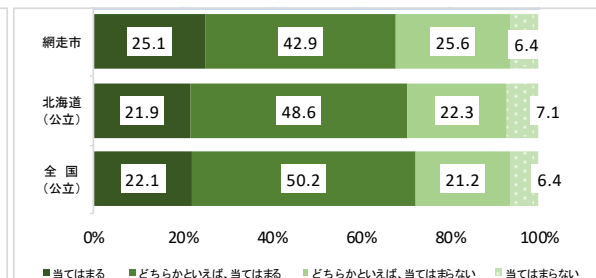
小学校 ＜児童質問＞

地域や社会をよくするために何かしてみたいと思いますか



中学校 ＜生徒質問＞

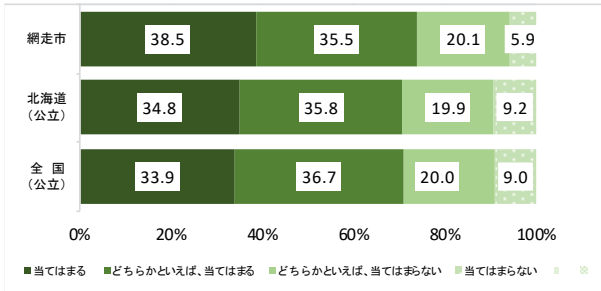
地域や社会をよくするために何かしてみたいと思いますか



「先生や学校にいる大人にいつでも相談できる」「幸せな気持ちになる」は、いずれも小学校において、肯定的回答が全国より高い。

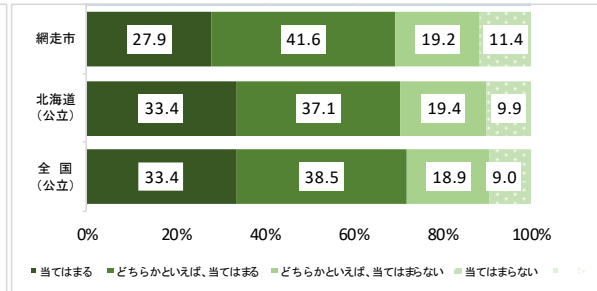
小学校 ＜児童質問＞

困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できますか



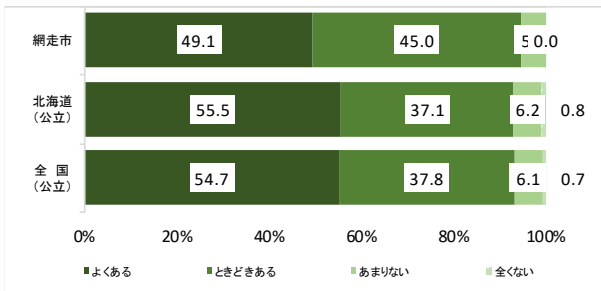
中学校 ＜生徒質問＞

困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できますか



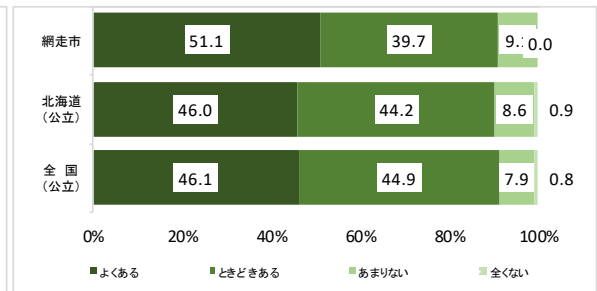
小学校 ＜児童質問＞

普段の生活の中で、幸せな気持ちになることはどれくらいありますか



中学校 ＜生徒質問＞

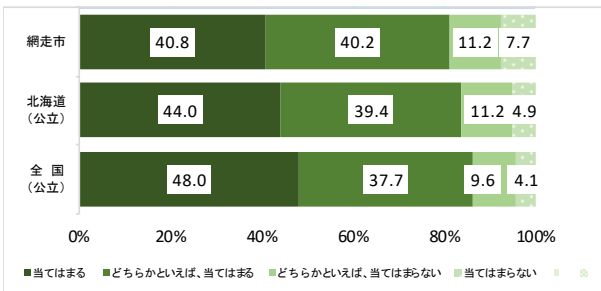
普段の生活の中で、幸せな気持ちになることはどれくらいありますか



「学校に行くのは楽しい」は小中学校、「友達関係に満足している」は中学校において、肯定的回答が全国より低い。

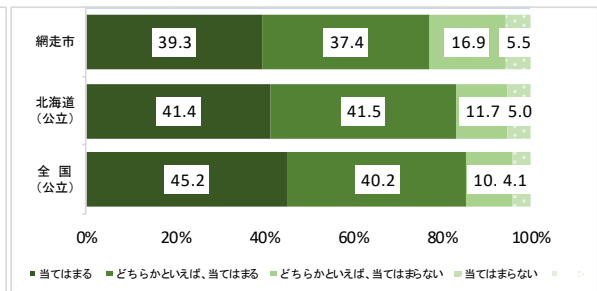
小学校 ＜児童質問＞

学校に行くのは楽しいと思いますか



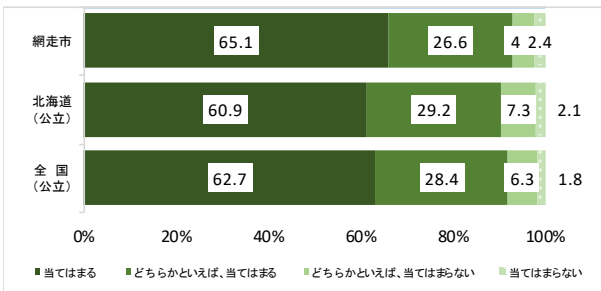
中学校 ＜生徒質問＞

学校に行くのは楽しいと思いますか



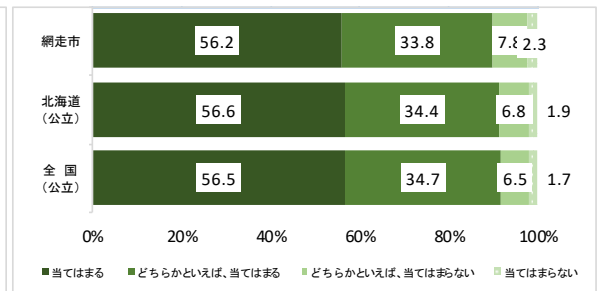
小学校 ＜児童質問＞

友達関係に満足していますか



中学校 ＜生徒質問＞

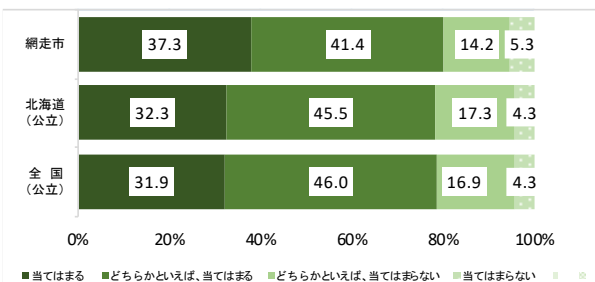
友達関係に満足していますか



「自分と違う意見について考える」「学級会」に関する肯定的回答は、いずれも小学校において全国より高い。

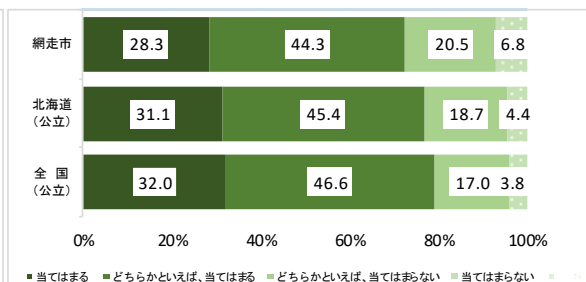
小学校 ＜児童質問＞

自分と違う意見について考えるのは楽しいと思えますか



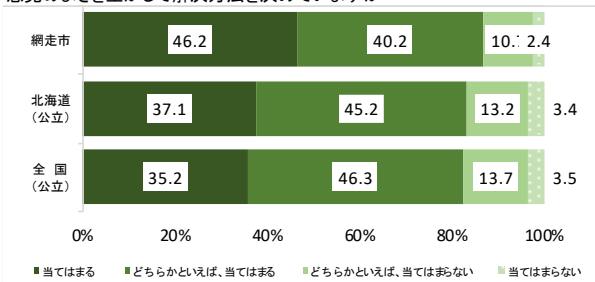
中学校 ＜生徒質問＞

自分と違う意見について考えるのは楽しいと思えますか



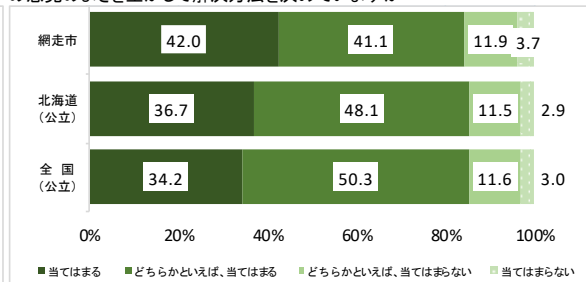
小学校 ＜児童質問＞

あなたの学級では、学級生活をよりよくするために学級会で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法を決めていますか



中学校 ＜生徒質問＞

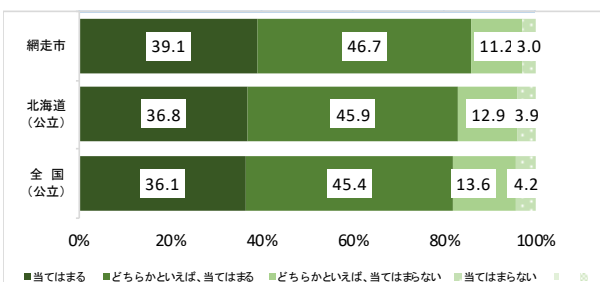
あなたの学級では、学級生活をよりよくするために学級活動で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法を決めていますか



「国語の授業がよく分かる」の肯定的回答は、小中学校において明らかに全国より高いが、「算数・数学の授業がよく分かる」の肯定的回答は、小学校において全国より低く、中学校において全国より高い。

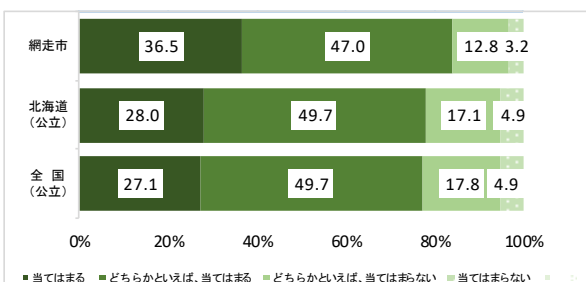
小学校 ＜児童質問＞

国語の授業の内容はよく分かりますか



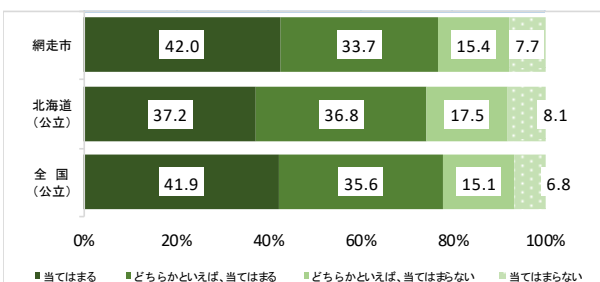
中学校 ＜生徒質問＞

国語の授業の内容はよく分かりますか



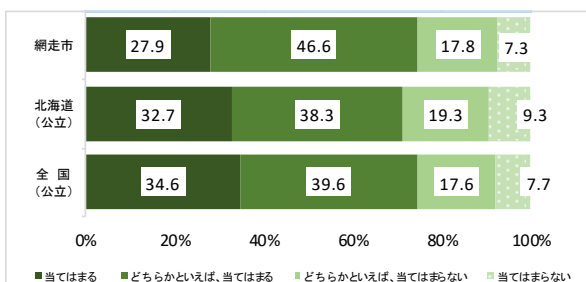
小学校 ＜児童質問＞

算数の授業の内容はよく分かりますか



中学校 ＜生徒質問＞

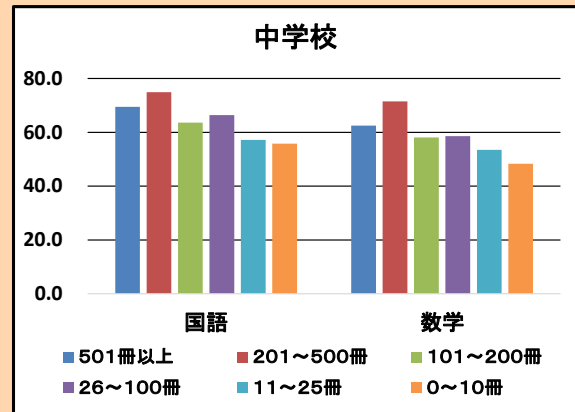
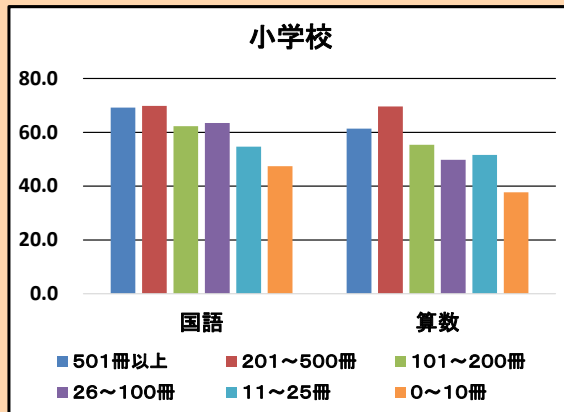
数学の授業の内容はよく分かりますか



5. 質問紙調査と平均正答率の相関

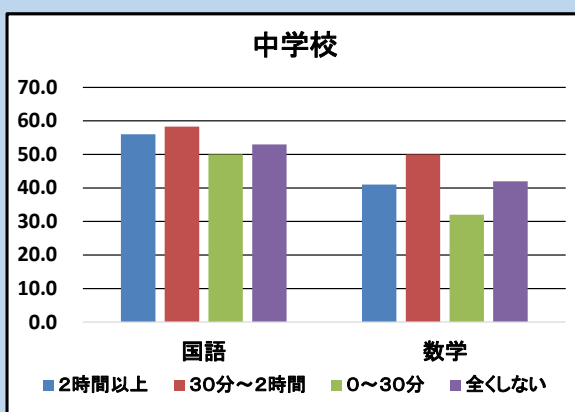
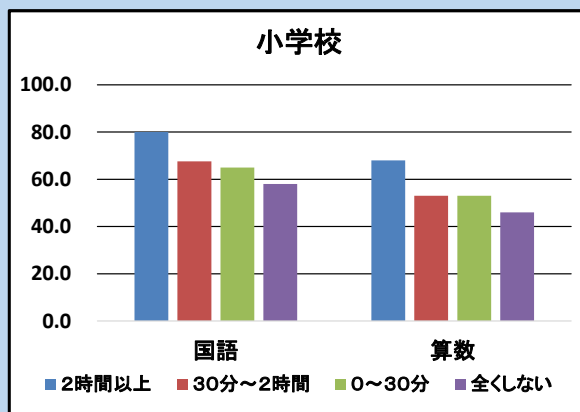
(1) 「あなたの家には、およそどれくらいの本がありますか（雑誌、新聞、教科書は除く）」と正答率の相関

家庭にある本が多いと回答した児童生徒ほど、各教科の平均正答率が高い傾向にある。



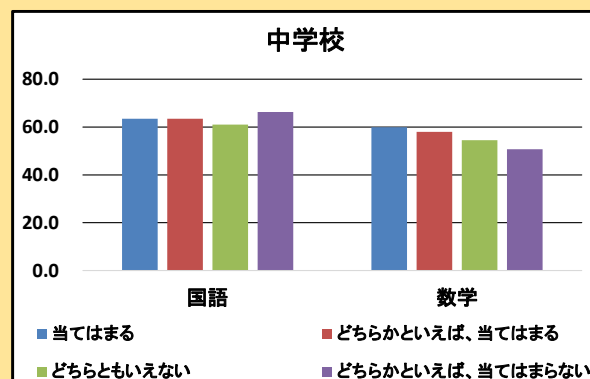
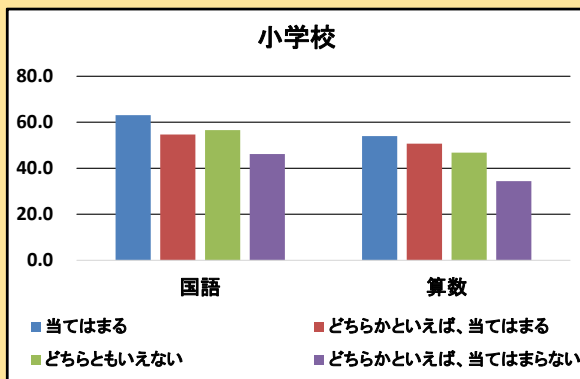
(2) 「学校の授業時間以外に、1日当たりどれくらいの時間、読書をしますか」と正答率の相関

小学校において、読書時間が多いほど、各教科で平均正答率が高い傾向にある。



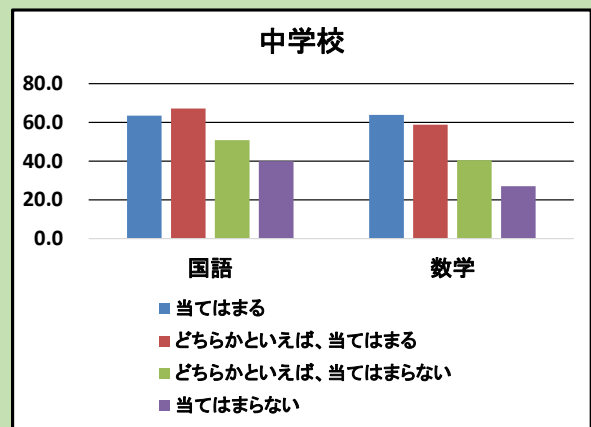
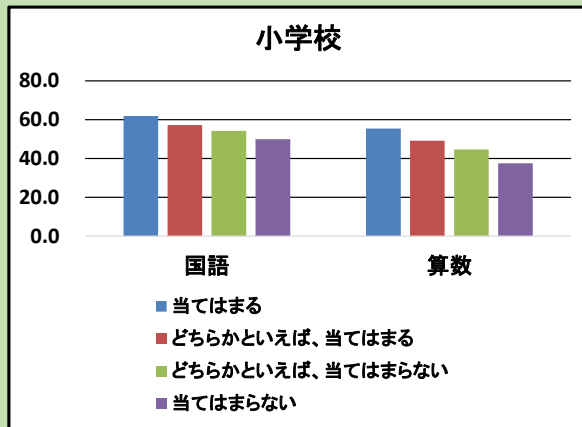
(3) 「あなたの学級では、人と違う意見を言っても否定されないと思いますか」と正答率の相関

「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答した児童生徒は、「どちらかといえばあてはまらない」「当てはまらない」と回答した児童生徒に比べ、各教科で平均正答率が高い傾向にある。



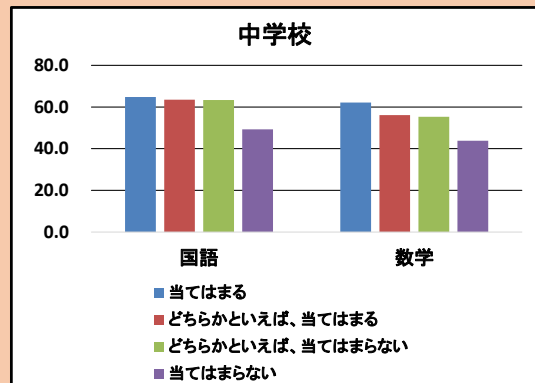
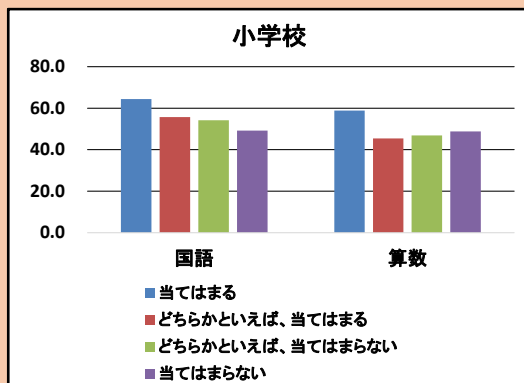
(4)「授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか」と正答率の相関

「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答した児童生徒は、「どちらかといえばあてはまらない」「当てはまらない」と回答した児童生徒に比べ、各教科で平均正答率が高い傾向にある。



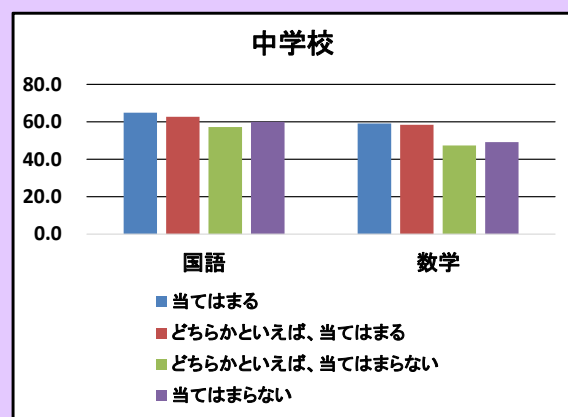
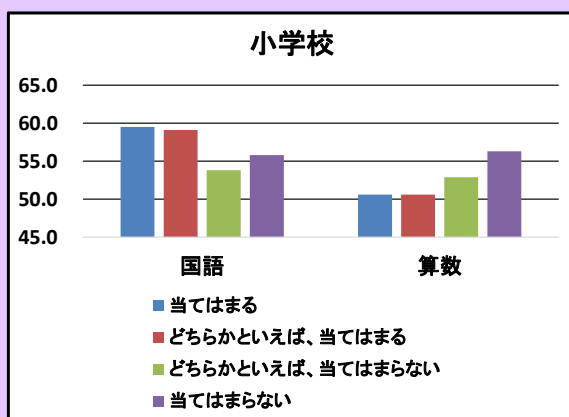
(5)「授業で、各教科などで学んだことを生かしながら、自分の考えをまとめる活動を行っていましたか」と正答率の相関

「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答した児童生徒は、「どちらかといえばあてはまらない」「当てはまらない」と回答した児童生徒に比べ、各教科で平均正答率が高い傾向にある。



(6)「あなたの学級では、学級生活をよりよくするために学級活動で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法を決めていますか」と正答率の相関

「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答した児童生徒は、「どちらかといえばあてはまらない」「当てはまらない」と回答した児童生徒に比べ、小学校算数以外の各教科で平均正答率が高い傾向にある。



7. 質問紙調査において全国より高い傾向を示した項目

【小中学校共通】

- 先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか
- 将来の夢や目標を持っていますか
- 人の役に立つ人間になりたいと思いますか
- 分からないことやくわしく知りたいことがあったときに、自分で学び方を考え、工夫することはできていますか
- 自分が PC・タブレットなどの ICT 機器で文章を作成することができますか
- 自分がインターネットを使って情報を収集することができますか
- 自分が PC・タブレットなどの ICT 機器を使って情報を整理することができますか
- 自分が PC・タブレットなどの ICT 機器を使ってプレゼンテーションを作成することができますか
- 自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していましたか
- 課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか
- 各教科などで学んだことを生かしながら、自分の考えをまとめる活動を行っていましたか
- 自分にあった教え方、教材、学習時間などになっていましたか
- 授業で学んだことを、次の学習や実生活に結びつけて考えたり、生かしたりすることができると思いますか
- 先生は、授業やテストで間違えたところや、理解していないところについて、分かるまで教えてくれていると思いますか
- 友達や周りの人の考えを大切に、お互いに協力しながら課題の解決に取り組んでいますか
- 総合的な学習の時間では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいますか
- 総合的な学習の時間では、PC・タブレットなどの ICT 機器を使って、うまく情報を集めたり、整理したり、発表したりできていますか
- 道徳の授業では、自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいますか
- 国語の勉強は得意ですか
- 国語の勉強は好きですか
- 国語の授業の内容はよく分かりますか
- 国語の授業で、先生は、あなたの良いところや、前よりもできるようになったところはどこかを伝えてくれましたか
- 国語の授業で、先生は、あなたの学習のうまくできていないところはどこかを伝え、どうしたらうまくできるようになるかを教えてくれましたか
- 国語の授業で、文章などを引用して、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫して文章を書いていたか
- 国語の授業で、文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめていましたか
- 算数(数学)の問題の解き方が分からないときは、あきらめずにいろいろな方法を考えましたか
- 算数(数学)の授業で、どのように考えたのかについて説明する活動をよく行っていましたか
- 算数(数学)の授業で、図形や数直線など図が示された問題では、問題を解くときに図が役に立つと思いましたか

【小学校のみ】

- 学校の勉強のことについて、あなたの親や家族は、どれくらいあなたと話しますか
- 人が困っているときは、進んで助けていますか
- いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか
- 困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できますか
- 自分と違う意見について考えるのは楽しいと思いますか
- 友達関係に満足していますか
- あなたの学級では、人と違う意見を言っても否定されないと思いますか
- 普段の生活の中で、幸せな気持ちになることはどれくらいありますか
- 地域や社会をよくするために何かしてみたいと思いますか
- 学級の生徒(友達)との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり新たな考え方に気付いたりすることができていますか
- 学習した内容について、分かった点やよく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができていますか
- 学級生活をよりよくするために学級活動で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法を決めていますか
- 学級活動における学級での話し合いを生かして、今、自分が努力すべきことを決めて取り組んでいますか
- 国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか
- 英語の勉強は得意ですか
- 英語の勉強は好きですか

【中学校のみ】

- 朝食を毎日食べていますか
- 毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか
- 毎日、同じくらいの時刻に起きていますか
- 学校での悩みについて、あなたの親や家族は、どれくらいあなたと話しますか
- 数学の授業の内容はよく分かりますか
- 生徒同士で英語で問答したり意見を述べ合ったりする活動が行われていましたか(中学校のみの項目)
- その内容を英語で書いてまとめたり自分の考えを英語で書いたりする活動が行われていましたか(中学校のみの項目)
- キーボードを使って英語を書く活動をどれくらい行いましたか(中学校のみの項目)

8. 調査結果における課題と改善のポイント

【課題】様々な情報を整理・統合し、自分の考えを根拠に基づいて記述する力

学校での取組(全教科等の授業を中心に)

◆児童生徒が互いに意見を交わし、自ら問いを立てて考える「対話的な学び」を重視する授業を充実させます。

具体例

- ・一人一台端末とクラウド環境による同時編集や相互参照等を有効活用し、個別最適な学びと協働的な学びの一体的充実を図る。
- ・単元のゴールや学習計画を、教師と子どもで共有・調整する。
- ・近くの席やグループ内等で、自分の考えを発表し、互いに質問し合わせる。
- ・自分の考えを述べるだけでなく、「なぜそう思うか?」や「文章・資料等のどこに書いてあるのか?」を問い、根拠となる部分を明確にさせる。
- ・書くことの条件(字数・時間・学習用語)を設定するなど、多様な書く場面を設定する。
- ・目的に応じて文章を繰り返し読んだり、足りない情報を補ったりして読ませる。
- ・話し方、聞き方、読み方、書き方について、系統性のある指導を学校全体で行う。

【課題】筋道を立ててグラフや表を読み解いたり、数や図形を用いて論理的に説明したりする力

学校での取組(算数・数学の授業を中心に)

◆答えが合っているかどうかだけでなく、「どうやってその答えにたどり着いたのか」という思考のプロセスを重視する授業を充実させます。

具体例

- ・「この問題は何を尋ねているのか?」「解くために必要な情報は何だろう?」といった思考の過程を言語化させる。
- ・自分の考えを表現する際、「～なので～と言える」といった因果関係を明確にする言葉を使わせる。
- ・データや事象をグラフや表に変換し、そこから読み取れる情報を自分の言葉で発表する活動を適切に設定する。

「答え」より「プロセス」を、一人から「みんな」で深める授業の日常化

【課題】自己肯定感と大人への相談

学校での取組

◆児童生徒のよいところが発揮されたり伸びたりする機会を適切に設定し、その行動を具体的に認め価値付けすることを充実させます。

具体例

- ・児童生徒と関わる際、困りごとや不安を抱えたときに、いつでも相談できる関係性構築を重視する。
- ・スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカー等と連携し、心理的な支援を必要とする児童生徒への専門的なサポートを行う。
- ・児童生徒の自治的・自主的活動の活性化を図り、児童・生徒会活動や学級での係活動も含めて、一人一人が役割を担い責任感や達成感を味わえる機会を適切に設定する。
- ・普段の授業や学校行事等の特別活動において、周囲との関わりの中で「できた」という達成感や満足感、「わかった」という嬉しさや楽しさを味わわせる指導の工夫を図る。

家庭での取組

- ◆学校での出来事について話を聞く時間を作りましょう。
- ◆励ましやほめることを大切にしましょう。
- ◆お子さんが何かに挑戦した時には、結果ではなく、行動したことやプロセスをほめてあげましょう。

【課題】読書習慣

学校での取組

- ◆児童生徒が自分で本を選んだり、読んだりするきっかけづくりを充実させます。

具 体 例

- ・ブックトーク等を積極的に行い、新しい本や教科書の教材と関連した本を紹介する。
- ・新刊や季節ごとのテーマ等に沿った本の展示を行う。
- ・読んだ本の記録等を共有し、互いに読書意欲を高め合わせる。
- ・お気に入りの本を紹介する活動等を行い、読書の楽しさを分かち合う場を設ける。
- ・各学校の実態に応じて、読書の時間を適切に設定する。
- ・学校図書館の活用の仕方についての計画的な指導の充実を図る。

家庭での取組

- ◆本がお子さんの手の届くところにある環境を整え、読書を余暇の過ごし方の一つにしましょう。
- ◆テレビやゲームを消し、毎日 10～15 分、家族でそれぞれ本を読む時間を作りましょう。
- ◆お子さんが好きなジャンルやテーマを尊重して、「まずは本を読む楽しさ」を味わわせましょう。

【課題】家庭での学びと望ましい生活習慣

学校での取組

- ◆家庭での学習方法等について具体例を挙げながら教えることで、主体的に家庭学習に取り組めるようにします。
- ◆家庭学習の出し方について教職員で共通理解を図るとともに、家庭学習の方法等について具体的な例を挙げながら指導を行います。

家庭での取組

- ◆宿題の時間を決めたり、学習予定をカレンダーに書き出したりして、達成感を味わわせましょう。
- ◆家庭学習は、【小学校】学年×10分+10分、【中学校】学年×1時間+10分を目標に取り組みましょう。
- ◆テレビ、動画の視聴時間、ゲームの時間を少なくしましょう。
- ◆スマートフォン、SNS、インターネット等は、使用できる時間等のきまりを設けましょう。
- ◆寝る前にスマートフォンやゲームの利用を控えるなど、良質な睡眠を確保するためのルールを家族で決め、一緒に守りましょう。
- ◆家の中に、勉強ができる環境をつくりましょう。
- ◆親子で体を動かす：公園で遊ぶ、近所を散歩するなど、日常で一緒に体を動かす時間を作りましょう。
- ◆起床時刻、就寝時刻が不規則にならないようにしましょう。
- ◆地域の行事へ参加させたり、図書館、社会教育施設を積極的に活用させたり、網走のよさにふれる時間をつくりましょう。

9. 網走市教育委員会における学力向上の方策

この方策は、これまで網走市教育委員会が取り組んできたものをさらに推進・拡充させていくものと、新たに取り組むものです。

1 教員の指導力を高めるために、研修の充実を図ります。

- (1) 中学校区連携による教職員研修の推進、「学び EXP0 in 網走」の開催や学力向上等の先進地域への視察研修など、網走市総合学校力向上推進委員会の活動を支援するとともに、網走市教育委員会主催の研修会を開催し、教職員の指導力向上を図ります。
- (2) 北海道立教育研究所や網走地方教育研修センター等の受講促進、公開研究会への参加、オホーツク管内教育研究団体への加入の促進を図ります。
- (3) 市内の学校で公開研究会を実施するとともに、網走市学校教育研究実践事業により公開研究会の開催を支援します。
- (4) 授業力向上のため、北海道教育委員会の専門的教育職員による学校教育指導を複数回要請し、授業改善や研究協議の充実を図ります。
- (5) 読書指導や家庭学習習慣の定着に成果を上げている学校の取組を網走市総合学校力向上推進委員会の中で共有し、各学校における具体的な取組の改善を図ります。

2 子どもの学びを支える教育環境の整備を図ります。

- (1) 学習内容をより分かりやすく伝えるためのＩＣＴ機器（電子黒板、１人１台端末、デジタル教科書等）を整備するとともに、ＩＣＴ機器の活用に関わる研修会を開催します。
- (2) 学校司書の配置や学校図書の整備など、読書環境の改善や、学校図書館機能の充実を図ります。
- (3) 海外からの英語指導助手（ＡＬＴ）を複数配置し、小学校段階からの外国語教育、国際理解教育の充実を図ります。

3 子どもたちに自ら学ぶ意欲を育み、確かな学力の定着を図ります。

- (1) 学習内容の定着を図るため、長期休業中や放課後の補充学習の充実、少人数指導や習熟度別学習、学習支援員の配置などによる、きめ細かな学習を推進します。
- (2) 児童生徒一人一人の理解を深めるため、学力状況を把握する標準学力検査や、学校での適応感を把握する検査を活用します。
- (3) 学び方に関する全校共通指導事項の取組を推進し、学習規律の定着を図ります。
- (4) 家庭での学習習慣確立のために、学校・家庭・地域が連携し、家庭学習の習慣化やテレビ・動画視聴、ゲームの時間の見直しなどを図ります。
- (5) 小・中学校において、「１５歳で育つ姿」「９年間で身に付ける力」を共有するなど、中学校校区を中心とした小中連携を推進します。
- (6) 東京農業大学や市内高等学校と連携し、土曜日や長期休業中、放課後での学習機会の創出・支援を行います。

4 特別支援教育の充実を図ります。

- (1) 特別支援教育支援員などの人的支援の充実や関係機関との連携を図ります。
- (2) 教職員や保護者の特別支援に対する理解を深めるため、研修会の実施、教育相談体制の充実を図ります。

5 健やかな学びを支えるために、体力向上の取組を推進します。

- (1) 心身ともに健康な子どもを育成するために、保護者、地域とともに、「早寝・早起き・朝ごはん」など望ましい生活習慣の定着、運動に慣れ親しむ機会を作るなど体力向上の取組を推進します。
- (2) スポーツ合宿団体によるタグラグビー教室など、スポーツ教室を積極的に開催します。また、教育長杯タグラグビー大会や、オホーツク網走マラソンなどの各種スポーツ大会への参加促進を図ります。
- (3) 1時間の授業の中でできるだけ運動する時間を確保したり、互いに教え合う活動を取り入れたりするなど、楽しく達成感が味わえる体育の授業の充実を図ります。
- (4) 日本体育大学との連携による、「子ども体力づくりサポート」や「体育授業改善研修会」を実施します。

6 思いやりを大切にし、豊かな心や地域を愛する心を育みます。

- (1) 「未来の創り手育成事業」を推進し、子どもの主体的な挑戦や地域還元を支援する活動の充実を図ります。
- (2) 学校における地域・保護者への積極的な道徳の授業公開や教育講演会の開催など、豊かな心を育成する教育の充実を図ります。
- (3) 地域に対する愛着や関心を高めるために、地域を素材とした総合的な学習の時間、ふるさと教育、食育などの充実を図ります。
- (4) 学校での朝読書や家読（うちどく）の充実、読み聞かせなどによる良書との出会い、市立図書館による「読書ノート」の積極的な活用により読書の充実を図ります。

7 地域、保護者との連携を図り、地域とともにある学校づくりを推進します。

- (1) 学校と家庭、地域住民等が「地域でどのような子どもたちを育てるのか」、「何を実現していくのか」という目標やビジョンを共有しながら、特色ある学校づくりを進めていくために、コミュニティ・スクール（学校運営協議会制度）を推進します。
- (2) 地域、保護者とともにある学校を目指し、「オープンスクール」の実施や「網走市学校支援地域本部事業」によるボランティアの活用など、地域、保護者との連携を図ります。
- (3) 小・中学生と地域の高校、大学との交流を推進し、児童生徒が新たな興味や関心を引き出す様々な体験学習等の充実を図ります。
- (4) 心身ともに健やかな児童生徒を育成するために、網走市PTA連合会と連携し、教育講演会、研修会を開催します。
- (5) ネットトラブルの未然防止を図るために学習会を開催したり、使用のきまりを作成したりするなど、学校と保護者が連携した取組を推進します。